

真室川小学生による手作り学校新聞が完成しました ～真室川災害から40年、取り組みの集大成～

「昭和50年真室川災害」から40年の節目を向かえ、各種^(※1)取り組みを実施してきました。その集大成として真室川小学校4年生による学校新聞が作成され完成したことから『真室川災害 学校新聞』の展示を下記のとおり実施します。

また、真室川町^(※2)学校新聞コンクールに出展され、「学級新聞の部・上学年」で**最優秀賞**を受賞しました。

※1 各種取り組みについては添付の参考資料を参照ください。

※2 学校新聞やPTA新聞などを対象に5部門で審査される新聞コンクール。今年で12回目の開催。

記

- ◆実施日 平成28年1月18日（月）～1月29日（金）
- ◆実施場所 真室川町中央公民館玄関ロビー

なお、2月1日（月）からは新庄河川事務所にて展示を行います。

<発表記者会：新庄新聞放送記者会>

<問い合わせ先>

【学校新聞について】

■真室川小学校

教頭 武田 茂行 (TEL 0233-62-2023)

【新聞展示について】

■真室川町役場

総務課(総務・危機管理担当) 主査 新田 寿昭 (TEL 0233-62-2111)

■国土交通省 東北地方整備局 新庄河川事務所

建設監督官 土岐 範彦 (TEL 0233-22-0256)

学校新聞作成までの流れ

【参考資料】

①5月14日 【災害体験談による防災学習】



②6月18日 【出前講座：昭和50年真室川災害】



③6月25日 【被災箇所等の学習】



④7月 2日 【模型実験、対策施設等の学習】



⑤9月～10月 【学校新聞の作成】

※体験者へのインタビューを実施



⑦学校新聞完成



⑧1月18日～ 【学校新聞展示】



①高橋さんによる体験談学習



②田村事務所長による出前講座



③被災箇所学習



④模型実験による土砂災害学習



④施設学習【二の沢砂防堰堤】

「真室川災害から40年」忘れてはならない教訓としての取り組み〔結果報告〕

昭和50年8月6日の「真室川災害」から平成27年で40年の節目を向かえることとなり、悲惨な災害の記憶を風化させること無く、後世に伝承していくことが求められており、当事務所と山形県真室川町が連携し、「真室川災害から40年」企画として、下記のとおり実施しました。

1. まるごと里ごとハザードマップの実践

地域単位でのきめ細かな避難行動と災いをやり過ごすすべを共有しました

昨今の被災状況等を考慮してソフト対策の推進に向けて、土砂災害の前兆現象を速やかに通報いただくと共に、各種警戒情報等を踏まえ、地域の住民が自主的に対応等を速やかに出来るよう、「まるごと里ごとハザードマップ」作成を試行的に取り組みました。

【主な実施内容】

- ① **まち歩き 約2時間かけて地区内を歩く** 【平成26年11月19日真室川町】
 - ・避難場所になる箇所や土砂災害警戒区域指定（予定）箇所などを確認
 - ・「ここは過去の土砂災害でどんな被害があったか」
 - ・危険箇所を見つけたなら地図に印を付けて写真撮影
 - ・避難誘導の標識設置最適箇所の選定 など
- ② **D I G（図上検討） 公民館に戻って検討** 【平成26年11月19日真室川町】
 - ・地図を広げる
 - ・歩いてチェックした場所にシール、写真を貼り付ける
 - ・「避難時注意」などを書いたメモ用紙を貼り付ける
- ③ **避難経路図** 【平成27年6月1日真室川町】
 - ・土砂災害警戒区域等、土砂災害の発生原因となる自然現象の種類を記載
 - ・土砂災害に関する情報の伝達方法 など
- ④ **標識設置** 【平成27年6月22日真室川町】
 - ・避難所となる施設、誘導に効果的な箇所を設置
- ⑤ **訓練・検証** 【平成27年10月24日真室川町】
 - ・マップを用いて訓練を実施し確認検証

※なお、寒河江川砂防管内においても「まるごと里ごと土砂防災」として同様な取り組みを実施



平成26年11月28日山形新聞14面



平成27年2月27日山形新聞14面

ハザードマップ作成の流れ



2. 日本郵便(株)等との連携

より多くの目で前兆現象をとらえ速やかなアクションを行える環境ができました

土砂災害危険区域及びその周辺に所在する郵便局と当事務所が相互に協力し、防災体制の一層の強化が図られるよう、真室川町、真室川郵便局(代表)と3者での協力協定書を平成27年8月4日に締結しました。



協定書への調印



平成27年8月14日朝日新聞23面

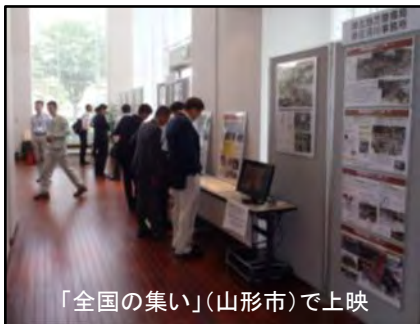
3. 災害写真、映像等での広報展開

貴重な災害資料を集め、35,000人へ広報活動ができました

土砂災害防止「全国の集い」、「巡回パネル展」で真室川災害DVDを上映。パネル展では真室川災害パネルも展示しました。

◆巡回パネル展

- ・7月23日～7月31日：戸沢村
- ・7月31日～8月7日：大蔵村
- ・8月7日～8月20日：大石田町
- ・8月20日～8月27日：尾花沢市
- ・8月27日～9月2日：鮭川村
- ・9月2日～9月8日：真室川町
- ・9月8日～9月14日：新庄市
- ・9月14日～9月18日：金山町



「全国の集い」(山形市)で上映



巡回パネル展(真室川町)

4. 次世代に伝える防災術〔親から子への伝承〕

次世代を担う子供達の記憶に刻むことができました

悲惨な災害の記憶を風化させることなく、後世に伝承していくために真室川小学校3年生以上を対象に体験談学習、出前講座、被災箇所・施設見学を実施しました。学習成果は学校新聞としてとりまとめていただきました。

- ・5月14日【災害体験談による防災学習】
- ・6月18日【出前講座 講師：田村事務所長】
- ・6月25日【被災箇所等の見学】
- ・7月 2日【模型実験、対策施設等の見学】
- ・9月～10月【学校新聞の作成】
- ・1月18日～【学校新聞展示】



田村事務所長による出前講座



模型実験による土砂災害学習

平成27年5月15日山形新聞24面

5. 防災訓練

訓練を通して災害の猛威に対するの対策を再確認しました

真室川町では、「真室川災害」を教訓に毎年防災訓練が開催されています。今年は防災能力の向上や防災知識の普及と防災意識の高揚を図るため地震及び土砂災害を想定した訓練を真室川町と合同で9月6日(日)に実施しました。訓練実施内容は下記のとおりです。

- ◆ 「排水ポンプ車排水訓練」
- ◆ 「土砂災害模型実験」
- ◆ 「水位計ブイ設置訓練」
- ◆ 「災害対策車両展示」
- ◆ 「パネル展示」



排水ポンプ車排水訓練



土砂災害模型実験



ブイ投下訓練の説明



災害対策本部車両展示

平成27年9月7日山形新聞24面

6. その他広報活動

「昭和50年 真室川災害」～あれから40年～ロゴを事務所資料、記者発表資料、名刺などに入れて広報展開しました。災害発生日の8月6日には町長が防災無線で町民へメッセージを発しました。



7. おわりに

今回「真室川災害から40年」企画として「記憶を風化させない」「後世に伝承していく」ことを念頭に町と連携しながら取り組んできました。中でもニュース番組内で「真室川災害・記憶と教訓」という6分程の特集で「ハザードマップ」、「防災学習」が取り上げられ放送を通じて多くの方に災害時の対応や防災を意識するきっかけとなりました。今後いろいろな節目を見つけ忘れてはならない教訓としての各種取り組みを展開していきたいと思ひます。

【町民へのメッセージ】

本日は昭和50年真室川大災害から40年の節目にあたります。尊い命が犠牲となり、多くの町民が財産を失い、途方に暮れている中、全国から数々のご支援をいただき、また、多くの方々の努力とご協力により、復興、発展し、現在の真室川町ができましたことを忘れてはなりません。いつ、どこで、どのような災害がおこるかわかりません。日頃より災害に対する心構えと準備を怠らず、また、地域内で互いに声掛けや避難支援ができるよう体制を整えていきますので、ご協力をお願いします。